

2016年9月14日

2016年度 日本建築学会大会（九州）学術講演会
防火部門 若手優秀発表賞 顕彰者

日本建築学会 防火委員会
委員長 萩原 一郎

- | | |
|-----------------------|---|
| 鈴木達朗（早稲田大学） | 火災加熱される木質部材内部の水分移動計測手法の開発研究 |
| 福本満夫（TE-DOK） | 製材を用いた平行弦トラスの載荷加熱実験 |
| 梶間夏美（大阪工業大学、現 東京工業大学） | 火災加熱を受けた既製コンクリート杭の曲げ性能 その2 火災加熱後の曲げ実験 |
| 宮坂輝由（日鐵住金建材） | 鋼架構のリダンダンシーが崩壊温度のばらつきに与える影響 |
| 正木智大（日本建築総合試験所） | 火害を受けたコンクリート構造物の劣化診断手法の検討 その2
コンクリートの色彩に関する一考察 |
| 仲野晃平（東京理科大学） | 群集歩行性状に関する研究 その10 ネット通過後の歩行性状の簡易
予測計算法 |
| 杉浦 駿（早稲田大学） | 臨海平野地域での津波避難時における自動車利用の有効性の検討
南相馬市におけるケーススタディ |
| 岸上昌史（大林組） | 区画火災におけるガス分析計を用いた流量測定法に関する検討
エタノール火源の場合 |
| 廣川典昭（東京工業大学） | 大規模延焼シミュレーションに基づく建物焼失危険性指標の提案 |